令和７年度　基本評価調書	所管部局	保健福祉部	所管課	地域医療課、障がい者保健福祉課

施策名	災害時医療提供体制の強化	施策コード	0417
政策の柱	北海道の強靱化	政策体系コード	3(3)A
関連重点戦略計画等	北海道創生総合戦略、北海道強靱化計画、知事の基本政策	事務事業数	8
特定分野別計画	北海道医療計画		
SDGs		総合判定	順調

予算額（千円）	R5	100,686千円	R6	837,621千円	R7	125,887千円

施策目標	二次・三次救急医療の体系的な整備を進めるとともに、救急医療体制及び精神救急医療体制の充実を図り、災害時の医療体制の強化を進める。
現状と課題	（災害医療体制の強化） 本道においても大規模自然災害の発生が危惧される中、災害時における医療の確保及び搬送体制の整備を図る必要があることから、平時から災害対策に関わる関係機関等の連携体制を構築しておくとともに、災害の種類や規模に応じて医療資源を有効に活用する必要がある。

<主な取組>

今年度の取組	（災害医療体制の強化） ・DMAT※訓練の実施など ・DPAT※研修の実施など ・耐震化の促進による災害拠点病院の強化など ※DMAT：Disaster Medical Assistance Teamの略、大地震及び航空機・列車事故といった災害時に迅速に駆けつけ、救急治療を行うための専門的な訓練を受けた医療チーム。 ※DPAT：Disaster Psychiatric Assistance Teamの略。災害等により被災地域の精神保健医療機能が一時的に低下し、さらにその需要が拡大した際に、地域のニーズを速やかに把握し、専門性の高い医療提供を継続するためことを目的とし、都道府県等によって組織される専門的な研修・訓練を受けたチーム。
実績と成果	（災害医療体制の強化） ・近い将来の発生の切迫性が指摘されている大規模地震の「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震」が根室沖を震源とし、根室～釧路管内で津波浸水による寒冷期の実災害を想定した訓練を実施し、地域の特性を踏まえた出動態勢や支援活動について、DMAT間及び関係機関との連携強化を図ることを目的とした北海道ブロックDMAT実動訓練を令和６年12月21日に実施。 【DPAT】 R6.11.24　北海道DPAT研修　12医療機関　36名参加 R7.3.9　北海道DPAT訓練　４医療機関　DPAT隊員４隊16名参加 令和6年度は新たに2医療機関とDPAT派遣協定締結 ・災害拠点病院の強化のため、DMAT指定医療機関である函館五稜郭病院の災害拠点病院指定を目指し、近接地でのヘリポートの確保などの整備を行い「災害拠点病院指定要件」に規定された要件全て満たす見込みであり、令和７年度中に災害拠点病院の指定予定。

参考HP①	北海道医療計画	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/cis/iryokeikaku/184045.html
参考HP②		
参考HP③		

令和７年度　基本評価調書	【3(3)A_0417】災害時医療提供体制の強化

<指標分析>　*成果指標の基準　要件(1)：アウトカム指標、要件(2)：「施策目標」や「現状と課題」に直結、要件(3)：総合計画等に掲げる指標*

成果指標①	増減方向	増加	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
災害拠点病院及び救命救急センターの耐震化率			%	R5	R6	R7	R15	97.0%	B（90%以上100%未満）
			目標値	100	100	100	100		
			実績値	97	97	97			

設定理由 *要件(1)(2)*	災害時における医療の確保に向けた取組状況を測る指標であり、課題である災害時の医療体制整備状況の成果を測る指標として設定。		
公表時期	毎年、基本評価調書で公表	根拠計画等 *要件(3)*	北海道強靭化計画

分析（主な取組と成果）

災害拠点病院においては、災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うため、施設の耐震化、食料、飲料水の備蓄、電力の維持が必要となることから、災害拠点病院の体制強化を図っているが、中でも耐震化には大規模な耐震改修または立て替えが必要で、それには多額の費用が掛かりその財源の捻出が課題となっており、財源確保等に努めていく。

成果指標②	増減方向	維持	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
災害拠点病院におけるDMAT保有率			%	R5	R6	R7	R15	100.0%	A（100%以上）
			目標値	100	100	100	100		
			実績値	100	100	100			

設定理由 *要件(1)(2)*	34ある全ての災害拠点病院において、災害医療活動のオペレーション等を担うDMAT隊員を維持する取組状況を測る指標であり、課題である災害時の医療体制整備状況の成果を測る指標として設定。		
公表時期	毎年、基本評価調書で公表	根拠計画等 *要件(3)*	北海道強靭化計画

分析（主な取組と成果）

大規模又は広域的な災害時における医療活動にはDMATが必要となることから、道及び国の研修受講により道内に34ある災害拠点病院すべてにおいてDMATを保有済み。

成果指標③	増減方向	維持	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
災害拠点病院における応急用医療資機材の整備率			%	R5	R6	R7	R15	100.0%	A（100%以上）
			目標値	100	100	100	100		
			実績値	100	100	100			

設定理由 *要件(1)(2)*	災害発生時に災害拠点病院としての役割を機能させるため、通常時から応急用医療資機材の整備状況を測る指標であり、課題である災害時の医療体制整備状況の成果を測る指標として設定。		
公表時期	毎年、基本評価調書で公表	根拠計画等 *要件(3)*	北海道強靭化計画

分析（主な取組と成果）

災害拠点病院においては、災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うため、各種災害医療資機材を整備している。

成果指標④	増減方向	維持	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
通常時の６割程度の発電容量と３日分の燃料を備えた自家発電設備を設置している災害拠点病院の割合			%	R5	R6	R7	R15	100.0%	A（100%以上）
			目標値	100	100	100	100		
			実績値	100	100	100			

設定理由 *要件(1)(2)*	災害発生時に停電などが発生した場合においても、一定程度の自家発電や保管燃料により、活動を維持する災害拠点病院の整備状況を測る指標であり、課題である災害時の医療体制整備状況の成果を測る指標として設定。		
公表時期	毎年、基本評価調書で公表	根拠計画等 *要件(3)*	北海道強靭化計画

分析（主な取組と成果）

災害拠点病院においては、災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うため、施設の耐震化、食料、飲料水の備蓄、電力の維持が必要となることから、災害拠点病院の体制強化を図っている。

成果指標⑤	増減方向	増加	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
災害拠点病院における浸水等対策率			%	R5	R6	R7	R15	91.3%	B（90%以上100%未満）
			目標値	－	80	80	100		
			実績値	73	73	73			

設定理由 *要件(1)(2)*	洪水や津波など災害発生時においても医療機能が維持できるよう、止水板の設置など災害拠点病院における浸水等対策の実施状況を測る指標であり、課題である災害時の医療体制整備状況の成果を測る指標として設定。		
公表時期	毎年、基本評価調書で公表	根拠計画等 *要件(3)*	北海道強靭化計画

分析（主な取組と成果）

災害拠点病院においては、災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うため、洪水や津波など災害発生時においても医療機能の維持が必要となることから、災害拠点病院の体制強化を図っているが、対策には多額の費用が掛かりその財源の捻出が課題となっており、財源確保等に努めていく。

令和７年度　基本評価調書	【3(3)A_0417】災害時医療提供体制の強化

<取組分析（連携状況、緊急性・優先性）>

連携状況	（課題） 平時から災害対策に関わる関係機関等の連携体制を構築しておく必要がある。 （取組と成果） 災害拠点病院等と連携を図るため、内閣府主体の令和７年度大規模地震時医療活動訓練を実施予定（令和７年９月）。

緊急性・優先性	（課題） 大規模又は広域的な災害時における医療活動にはDMATが必要となることから、DMATの養成及び技能の維持等に取り組む必要がある。 （取組と成果） DMATを養成するため、北海道災害医療従事者研修を実施予定（令和７年10月以降）。

<取組分析（その他統計数値等）>

その他統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
	R4	R5	R6
DMAT実働訓練の実施回数	1	1	1

（課題）

平時から災害への対応力を向上することが重要であり、DMAT隊員の育成やスキルアップを図っていくためには定期的に実働・図上訓練を行っていく必要がある。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
令和６年度については、令和６年12月21日に釧路～根室管内で実施。令和７年度については、内閣府主体の北海道、青森県、宮城県、岩手県に跨がる令和７年度大規模地震時医療活動訓練を令和７年９月５日、６日に実施予定。	b

その他統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
	R4	R5	R6
北海道DPAT研修の実施回数	1	1	1

（課題）

災害時に専門性の高い精神医療活動等を行うため、DPAT構成員に対し、研修・訓練を実施し、知識・技術の習得を図る必要がある。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
計画的に養成できており、引き続きDPAT構成員（予定者含む）を対象とした研修を実施する。	b

その他統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度

（課題）

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定

令和７年度　基本評価調書	【3(3)A_0417】災害時医療提供体制の強化

<一次政策評価（実施機関が行う政策評価）>　※「指標判定」と「その他統計数値等」はそれぞれ指標等の平均を算出

指標判定	A	連携状況	○	総合判定	順調
		緊急性・優先性	○		
		その他統計数値等	b		

■判定が「D」の成果指標
（該当なし）

	対応方針番号	内容
今後の対応方針	①	本道においても大規模自然災害の発生が危惧される中、より実効性の高い訓練等を実施し、道内災害医療体制の充実を図る。
	②	
	③	

<二次政策評価（知事が行う政策評価）>

二次政策評価意見	

前年度の二次政策評価意見（区分）

<一次政策評価を踏まえた対応状況（３月末時点）>

	対応方針番号	内容
翌年度の対応状況	①	北海道DMAT実動訓練や災害医療従事者研修の実施等により、道内災害医療体制の充実を図る。
	②	
	③	

<二次政策評価意見への対応状況（３月末時点）>

二次政策評価意見への対応状況	

令和７年度　事務事業評価調書

施策名	災害時医療提供体制の強化	施策コード	0417

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	執行体制 出先機関	執行体制 人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	一次政策評価 方向性	二次政策評価意見	３月末時点における対応 二次評価意見への対応状況	３月末時点における対応 翌年度の方向性
0249	－	一般	災害拠点病院整備事業費補助金	地域の中核病院を災害拠点病院として指定し、災害時の搬送受入機能、水・医薬品・医薬材料の備蓄機能を付与するための施設及び機器の整備事業に対し助成	地域医療課	0	17,535	0	0.4	0.1	0.5	21,623	①	改善（取組分析）			改善
0250	－	一般	緊急時医療活動施設設備整備費	緊急時における医療活動の充実を図るため、北海道地域防災計画に基づき、必要な設備の整備、維持を行う。	地域医療課	0	63,370	0	0.2	0.0	0.2	65,005	①	改善（取組分析）			改善
0251	－	一般	緊急時医療活動整備費（維持費）	原子力災害医療体制の実施に伴う維持的経費	地域医療課	0	11,092	0	0.2	0.0	0.2	12,727	①	改善（取組分析）			改善
0252	－	事務	原子力災害医療体制の整備に関する事務（原子力防災訓練等を含む）	原子力災害医療体制の整備、原子力防災訓練の実施	地域医療課	0	0	0	0.4	0.0	0.4	3,270	①	改善（取組分析）			改善
0253	－	一般	原子力災害医療運営費補助金	原子力災害拠点病院の機能強化に必要な運営費に対し補助。	地域医療課	0	12,180	0	0.1	0.0	0.1	12,998	①	改善（取組分析）			改善
0259	－	一般	災害医療従事者研修等事業費	DMATなど災害医療に従事する医師等を対象とする研修を実施。	地域医療課	0	5,730	0	0.1	0.0	0.1	6,548	①	改善（取組分析）			改善
0260	－	一般	災害・感染症医療業務従事者派遣設備整備事業費補助金	災害発生直後や新興感染症まん延時における被災地等の医療機能の低下に対応するため、「災害・感染症医療業務従事者」を派遣する医療機関を支援。	地域医療課	0	14,267	0	0.1	0.0	0.1	15,085	①	改善（取組分析）			改善
0968		一般	災害派遣精神医療チーム体制整備事業	災害時などの緊急時において、被災者や支援者に対して精神保健医療活動が円滑に行われるよう、災害派遣精神医療チームを整備する。	障がい者保健福祉課	0	1,713	185	0.2	0.3	0.5	5,801	①	改善（取組分析）			改善
計						0	125,887	185	1.7	0.4	2.1						